

平成18年度 旭市下水道事業特別会計予算の概要

1. 予算規模

平成18年度当初予算額	778,000千円
平成17年度当初予算額(通年ベース)	683,600千円
比 較	94,400千円(13.8%増)

下水道事業は、平成6年2月15日に事業認可を受け、計画工程に沿った事業の進捗により、平成17年3月末までに137.9haの区域を供用開始し、平成18年3月末には、新たに3.8haの区域を供用開始する予定である。

平成18年度は、イ・ロ地先4.2haの面整備工事を予定している。

また、終末処理場は平成12年度から運転管理業務を開始し7年目を迎え、汚泥処理施設は平成13年度から運転管理業務を開始、順調に稼働している。

2. 歳 入

- (1) 分担金及び負担金は、34,306千円で、対前年度9,209千円、21.2%の減で計上した。
- (2) 使用料及び手数料は、46,388千円で、対前年度2,266千円、5.1%の増で計上した。
- (3) 国庫支出金は、64,000千円で、対前年度32,000千円、100.0%の増で計上した。
- (4) 繰入金は、443,202千円で、対前年度69,098千円、18.5%の増で計上した。
- (5) 繰越金は、21,000千円で、対前年度39,156千円、65.1%の減で計上した。
- (6) 市債は、169,000千円で計上した。

3. 歳 出

- (1) 人件費は、91,804千円で、対前年度3,147千円、3.5%の増で計上した。
- (2) 一般管理事務費及び下水道普及促進費は、11,908千円で、対前年度3,602千円、23.2%の減で計上した。
- (3) 施設維持管理費は、97,978千円で、対前年度3,716千円、3.9%の増で計上した。

【主な事業】

・運 転 業 務 委 託	62,000千円
・汚泥等運搬処理業務委託	7,296千円
・光 熱 水 費	7,458千円

- (4) 下水道建設事業費は、255,393千円で、対前年度76,631千円、42.9%の増で計上した。

【主な事業】

・幹線管渠整備委託	124,250千円
・管渠工事(A=4.2ha、イ・ロ地先)	88,200千円
・水道管切廻し工事負担金	15,750千円
・ガス管切廻し工事負担金	15,750千円

- (5) その他の支出は、公債費に317,916千円で、予備費に3,000千円を計上した。